

韓国語学実習 学生リポート

国際文化学科1年
川野祥子

8月20日～9月9日の3週間、韓国にある高麗大学へ語学研修に行ってきました。毎日授業が終わったら、ショッピングをしたり、カフェで友人とその日の復習をしたり、トウミ(buddy)の学生と市内観光をしました。週末にはロッテワールドに行ったり、日韓編映映画交流で仲良くなったソウル芸術大学の学生たちにも会いに行きました。

国際文化学科の学生がインカレに出場



2012 일본어를 위한 한국어특별과정 2차 수료식

国際文化学科2年の堀貴詞君がライフル射撃の九州代表としてインカレに出場しました。大会は10月11日に長瀬射撃場(埼玉県秩父郡長瀬町)で開催され、堀君は10mエアライフル立射60発の試合に出場し、健闘しましたが、惜しくもファイナル進出はなりませんでしたが、堀君は「卒業後もライフルを続け、国体出場を目指します」と語ってくれました。

香港・中文大学の学生と 交流合宿キャンプを行いました

ジュリー・ノートバー先生の卒研ゼミ生と教養ゼミ生(合計18名)が、8月6日～8日、豊後大野市にある犬飼町リパークで香港・中文大学の学生と2泊3日の交流合宿キャンプを行いました。この交流合宿キャンプの主催者である犬飼町わかあゆ国際交流会では、15年前から香港・中文大学のホームステイを受け入れ、2週間の日程で日本の田舎暮らしや伝統文化体験などを行っています。フリスビーやトランプなどで遊んだり、一緒にカレーライスを作るなど、お互いの学生がすぐに仲よくなりまりました。2日目の夕方には、「犬飼町わかあゆ国際交流会15周年式典」にも参加し、会場設営のお手伝いや式典のあいさつなどもさせて頂きました。3日目にはお別れしましたが、香港の学生が十分に滞在中、また一緒に遊びに行く約束をしました。



竹田合宿と耶馬溪の 災害ボランティア参加

7月21日と22日の2日間、恒例の竹田合宿が行われました。今回は、上野ゼミ&永田ゼミ&野坂ゼミの1、2年生総勢40名ほどが参加し、キャンパスの掃除をした後、長湯温泉に入り、パーベキューやきもちめしを楽しみました。



翌日は、ゼミ毎に分かれて研修。野坂ゼミでは、学生が簡単な模擬授業をしました。永田ゼミは「物語を作る」という内容。その後、野坂ゼミの学生を中心に学生12名が集中豪雨の被害に遭った中津市耶馬溪へ向かい、災害ボランティアに参加しました。およそ2時間、被災した民家で土砂の運び出しを手伝いました。非常に暑い日で、つらい作業となりましたが、被害の凄まじさを目の当たりにし、現場の緊張感に触れた貴重な経験となりました。



夏休み実施のインターンシップに多くの学生が参加

私は2週間、大分市役所にインターンシップに行かせてもらいました。私の行かせてもらった福祉保健部では、1日に1課をまわるという形でインターンシップをやらせていただきました。課ごとに仕

事内容がとも様々だったので忙しくもありましたが、新鮮で充実した毎日でした。地図を見ながら病院の位置の地図を作成したり、健康診断1人親家庭の申告、食育推進の会議などいろいろな所に同

行させていただいたり、動物管理所、大分市社会福祉協議会、保健所、消防署といった施設へ行き、そちらのお話も聞かせていただくことができ、この2週間で私はとても多くの人たちと関わることが出

来ました。私はこのインターンシップに参加して良かったです。市役所で働きたいという気持ちが増したインターンシップでした。

国際文化学科1年 渡邊美希

国際文化学科1年に「ミス別府」!

2011～12年度の「ミス別府」を務めた、国際文化学科1年の近藤祐加さんにインタビューしました!

●Q ミス別府として、別府のどこいうところを宣伝したいですか。
●A 湯けむり、温泉の楽しさ、自然を宣伝したいです。
●Q 別府の観光名所のトップ3を教えてください。
●A 地獄、地獄蒸し工房鉄輪、竹細工伝統産業会館かと思えます。

●Q 個人的に、別府のどこが好きですか。
●A 鉄輪が好きです! 鉄輪は小さい頃住んでいたという思い出があります。
●Q 将来の夢はまだ決まっていますか。
●A 将来の夢はまだ決まっていますが、ミス別府を通して

もありませんが、情緒溢れる街並みが気に入っています。
●Q 短大では、何を勉強したいですか。勉強以外に、何をやりたいですか。
●A 特に外国語に力を入れて、勉強したいです。勉強以外では市や観光、情報発信に関わることに積極的に参加したいです。
●Q 将来の夢を教えてください。
●A 将来の夢はまだ決まっていますが、ミス別府を通して

て培った経験を活かせたらと思っています。
●ありがとうございます!



(前列右から2番目)
←今回の表紙にも登場してもらいました!



フェアトレードショップ出店!



10月20日の芸術祭で、国際文化学科の学生がフェアトレードショップを出店しました。扱った商品は、シャンティ国際ボランティア会(SVA)のフェアトレード商品です。SVAは、主に東南アジアの少数民族の文化教育支援をしているNGO団体で、販売した商品は東南アジアの人々が制作した手芸品です。

また、学内でフェアトレードについて考えるワークショップとパネルトークも行われました。SVA大分代表の甲斐之彦さんもパネリストの一人として登壇し、SVAのフェアトレード活動であるクラフトエイドについて解説してくれました。

それまでフェアトレードショップを出店したという学生も、「自分にもできる国際協力をした」という気持ちになりました。

ジュリー・ノートバー先生の「ビジネス英語(中級)」の実習で、12月1日に豊後大野市三重町にある稲積水中鍾乳洞と竹田市の岡城址に行ってきました。授業では、私たち2人は観光ビジネスを学んでおり、その一環で実際に観光ガイドを体験しようとの企画でした。

鍾乳洞と岡城址の案内という役割を先生に設定されます。それぞれスポットについて調べて、案内文を作り直しました。調べている間は、その場所に行ったことがなかったので、なかなかイメージがつかめず苦労しましたが、実際にガイドを始めると楽しく案内することができました。

国際文化学科2年
山本愛さん&呉静凡さん

